

平成29年度 府立高校特色化事業 事業計画書

1 テーマと目標

テーマ	「よし、勉強しよう。」
目標	生徒が主体的に学習に取り組み、希望進路の実現を果たす。地域の現状に目を向け、地域貢献・地域活性化を推進し、地域創生の一翼を担う。

2 事業内容

番号	区分	実施 予定日	参加生徒		目的	内容	成果を測る指標	現状	中間目標	年間目標
			対象	人数						
①	地域貢献	通年	全員	402	地域に学び、地域に生きる。生徒の活動が地域を盛り上げ、地域を元気にする。	ボランティアバンク、1クラス1クラブボランティアの活動を通して、地域の体育的・文化的諸行事への支援・運営協力を行う。	ボランティア活動への参加回数（一人あたり）	5.1回	3.0回	5.2回
②	地域連携	11月	企画経営科 全員	90	「丹後活性化プレゼンテーション大会」を地域住民にも公開して、地域に密着した取組とし、開かれた学校づくりを目指す。	地元企業との連携を強化し、地域貢献につながる丹後活性化案を提案して、その具現化を図る。企画経営科の教育活動の成果を広く地域に発信する。	参観者のアンケート調査企画経営科の教育活動が地域創生に寄与していると回答した割合	-	-	100%
③	学校間連携	11月	企画経営科 2年生全員	30	地域研究を行っている大学生とワークショップを行い、地域活性化のための調査研究を深める。他校（京都すばる高校）と交流することにより、共同企画した「丹後日帰りツアー」を成功させ、地域創生への意欲を高める。	高大連携を通して、地域活性化を目指す調査研究をより深め、「丹後日帰りツアー」の充実を図る。また、京都すばる高校との交流と京都すばるデパート販売実習の視察を行う。	自己評価アンケート 地域創生への意欲が高まったと回答した生徒の割合	89%	90%	100%
④	学力向上	通年	2年生全員	148	個に応じた指導の充実による「学力中間層」の底上げを目指す。	各チューターが8人程度の生徒を担当して、家庭学習のアドバイス、進路相談などを行い、生徒が希望進路実現のために主体的に行動を起こすよう働きかける。	家庭学習時間	75.6分 (1年次)	110分	120分
⑤	学力向上	通年	1年生全員	112	自己肯定感を高めることで、学習に意欲的に取り組ませる。	目標設定とその振り返りを1ヶ月ごとに行う「エッグシート」を活用し、小さな目標の達成を積み重ね、学習習慣の確立を目指す。	家庭学習時間	-	100分	110分
⑥	学力向上	通年	1年生 希望者	-	基礎学力の向上と学習習慣の定着	各種資格取得に挑戦し、合格に向けて取り組むことで、学習習慣の定着と学習意欲を高める。	普通科：受験者数 企画経営科：合格率	-	15人 -	50人 80%
⑦	学力向上	7月	1年生 希望者	-	進学希望者のモチベーションアップを図り、学力を向上させる。	「進学講演会」を実施してモチベーションアップを図り、府立高校実力テストの偏差値平均をアップさせる。	府立高校実力テストの偏差値平均の伸び	-	-	3
⑧	学力向上	通年	全員	402	授業でICT活用、アクティブ・ラーニングを推進し、生徒が思考する時間を確保し学びを深めさせる。	課題解決型の学習の成果発表を、パワーポイントなどを使用してプレゼンテーション形式で行う。	授業評価アンケートで、主体的に学習に取り組んだと回答した生徒の割合	78%	80%	90%

平成29年度 府立高校特色化事業 事業計画書

⑨	キャリア教育	11月	2年生全員	148	自らのキャリアプランをしっかりと考えさせる。	パスを借り切ってキャリアデザイン事業見学ツアーを実施し、進路意識の高揚と学習意欲の喚起を図る。また、進学講演会等により、大学入試に向けた具体的な学習対策等を考えさせる。	進路希望調査における進路未定生徒の割合	1人	10人	0人
⑩	キャリア教育	通年	全員	402	生徒の豊かな人間性を育み、使命に生きる社会人を育てる。	「生き方学習プログラム」の資料と感想等を綴り込んだポートフォリオを作成し、年度末に学年に応じた「自己発見レポート」を書く。	自己発見レポートの完成	98%	-	100%
⑪	キャリア教育	通年	3学年 全員	143	個別指導を充実させ、希望進路を実現させる。	学習面に内容を絞った「プルアップ面談」を実施し、生徒一人一人の詳細な進路希望や学力状況の情報をまとめた「進路突破シート」等により、教員が情報を共有して個別指導を充実させる。	進路決定に対する満足度	82%	-	100%
⑫	産学連携	通年	企画経営科 1・2年生	60	地元企業等の協力を得て、商品開発におけるマーケティング実習の充実を図り、地域に貢献させる。	地元企業の協力を得て、商品の企画から販売、ホームページ作成等の広報活動まで、地域活性化に向けたマーケティング実習に取り組む。	校内のアンケート調査で丹後に関する興味・関心がわき知識が深まったと回答した生徒の割合	79%	-	100%

※ 「区分」は各校の取組内容に応じて適宜設定してください。（例：「学力向上」、「地域連携・地域貢献」等）
 ネットワーク校でフェスタ・学校間連携事業を実施する場合、区分欄には「フェスタ」、「学校間連携」と記入してください。
 成果を測る指標は、別紙「府立高校特色化事業 中間及び年間目標 参考事例」を参考に各校で設定してください。

3 取組の広報及び評価の公表

時期	手法	公表内容	対象
随時	学校HP	地域行事への支援・運営協力、 進路決定状況	HP閲覧者
随時	地元新聞社	地域行事への支援・運営協力	地域住民など
月1回	学校だより	地域行事への支援・運営協力 学習時間調査、進路決定状況	地域住民など